

静岡県議会議員

山崎しんのすけ

拡張号

平成30年11月発行

通信

本気が違う!!



山崎しんのすけ事務所 | 浜松市中区領家1-11-21 TEL.053-461-1020 FAX.053-465-6982
ホームページ→ <http://www.shin-sk.net/> 山崎しんのすけ 検索

若き力で静岡県に活力を!

12年間の議員生活を経て私も37歳になりましたが、学生や若い方との交流は積極的に行っています。これからの静岡県を引っ張るのは若い力。彼らを守り、かつ活躍できる場の創出に努めます!



▶2019茨城国体の文化プログラムの種目になった「ウイニングイレブン」。各地で大会も開かれるようになってきました。(2018/9)



▲静岡県Eスポーツ協会の設立に関与。これからのeスポーツシーンを盛り上げていきます!(2018/7)



◀若者の自殺者を出さないために。夏休みLINE相談を初めて実施し、かなりの反響がありました。(2018/8)

▼第4回ふじのくにカフェを開催。会派の政策について、若者ならではの視点から意見を頂きました。(2018/9)



◀第1回的好評を受けて、第2回はままつ若者政治バルを楽しく開催。45名以上の参加者に恵まれ、議員、若者、一般の方と実りある時間が過ごせました!(2018/8)



「地域や各種団体の活動にも積極的に参加！」



◀ 地域の敬老会でご挨拶。いつの時代も敬老の価値を大切にしたいですね！(2018/9)

▶ 世界農業遺産に認定された「静岡水わさびの伝統栽培」。国内最大級の生産を誇る伊豆市を視察。(2018/9)



◀ ボードゲームを通じた交流の場創出事業「YORUTOCO」。婚活イベントで大好評です！(2018/7)



▲ 2年目を迎えた「浜松エイサーどまんか祭り」。まちなかの賑わいに大貢献！(2018/8)

会派の新しいポロシャツを着用し、真夏の街頭演説を敢行！

▼▶ 県政の出来事を声にして届けます。(2018/8)



◀ 自主防災隊訓練でお手伝い。消防団は勤続14年になります。(2018/9)



川勝知事と会派の
重点政策について意見交換。
美しい“ふじのくに”づくりを
進めます!(2018/7)



建設委員長として

東 奔 西 走

▶ICT建機の運転を初体験。建設業の
未来のために、挑戦を後押ししてい
きます。(2018/7)



▲清水港のコンテナターミナルを視
察。海の玄関口として、機能拡充が
求められます。(2018/7)



▲懸案の篠原地区への野球場構想。
一歩ずつですが、ここへ来て確実に
前に進んできました!(2018/7)



▲委員会メンバーでの集合写真。
こちらは、長年の課題である沼津駅
高架化事業の現場から。(2018/7)

I♥Mt.Fuji.

「富士山登山ルート3776」に初挑戦!(2018/8)



◀ 海拔ゼロ地点からスタート!
海水にタッチし、準備万端。

▶ 富士塚が正式なルート3776の
起点。スタンプラリーも開始!



2合目
区間

◀ 表富士グリーン
キャンプ場にて
宿泊。
ホッと一息。

▶ 勾配は緩やか
ですが距離が
長い。

0~2合目
区間



2~6合目
区間

▲ものけ姫に出てき
そうな山林の中、一気
に海拔2500mへ!

▼スタンプラリー完成!
しかし、帰りの時間が...



8合目
区間



▲帰り時間と悪天候を考慮し、8合目で折
返すことに。残念でしたが、今までの登山
で最高の思い出になりました!世界遺産
富士山をいつまでも愛し続けていきます!



山崎真之輔プロフィール

- ◆ 37歳三児の父親
- ◆ 浜松北高等学校、名古屋大学法学部卒業
- ◆ 元衆議院議員 鈴木康友(現浜松市長)秘書
- ◆ 浜松市議会議員(2期6年間)
- ◆ 静岡県議会議員(2期目)
- ◆ 所属会派:ふじのくに県民クラブ
- ◆ 所属委員会:建設委員会 委員長
- ◆ 趣味:スポーツ全般、日本舞踊(花柳流)、読書、カラオケ、ボードゲーム、eスポーツ

「教訓を生かし、強くてしなやかな静岡県を！」

今年の夏以降は、日本各地で大きな災害が続きました。そこで私は、西日本豪雨で甚大な被害を受けられた岡山県や広島県を訪問し、災害ボランティアを実施。また、現地からは貴重な教訓を得ることもできました。行政がすべきこと、地域や個人でできることを改めて整理し、県民の命を守るため、そして強くてしなやかな静岡県を創るため、今後も邁進してまいります！

真備町ボランティア見聞録(2018/7)



▲土砂を除去し、家財を撤出し、リアカーで運ぶ。真夏の作業は命がけです。道路脇に積まれた大量の災害ゴミ。置き場の確保など、平時からの細かな想定が必要です。

▼9月定例会で災害対策として大きな予算が生まれ、私が委員長を務める建設委員会で無事可決。(2018/10)



▶危険度の高い箇所には、ハード対策を緊急的に施します。



◀県民の防災意識を高めるために、HUG(避難所運営訓練)などのソフト対策も充実を。



▲避難所支援システム「避難所てだすけくん」。電源喪失時でも稼働します。

▶避難者の人数と個人情報が迅速に集計できるのが特徴。



今年の冬、ポリテクカレッジ浜松さんとコラボした訓練を実施予定！

▶ものづくりの実践技術者の育成を目的とした短期大学。社会に役立つ開発も沢山行っています。

